

**製品名: リン酸化 EGFR (Tyr1092) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01930**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 134 kDa; Observed MW: 175 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EGFR
別名	EGFR; ERBB; ERBB1; HER1; Epidermal growth factor receptor; Proto-oncogene c-ErbB-1; Receptor tyrosine-protein kinase erbB-1
遺伝子 ID	1956
SwissProt ID	P00533
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

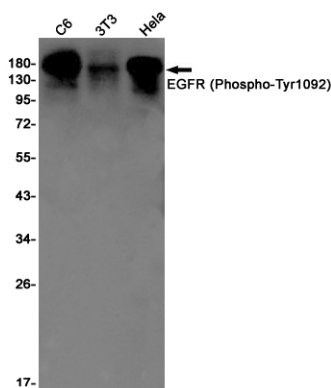
**背景**

EGFRは受容体型チロシンキナーゼです。上皮成長因子（EGF）および関連成長因子（TGF- $\alpha$ 、アンフィレグリン、ベータセルリン、ヘパリン結合性EGF様成長因子、GP30、ワクシニアウイルス成長因子など）の受容体であり、細胞の増殖と分化の制御に関与しています。1回膜貫通型チロシンキナーゼです。この受容体へのリガンド結合は、受容体の二量体化、自己リン酸化（トランスリン酸化）、下流の様々なシグナル伝達分子の活性化、およびリソソーム分解を引き起こします。

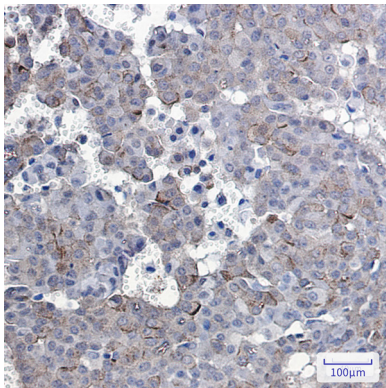
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



リン酸化EGFR (Tyr1092) 抗体を使用したC6、3T3、Hela溶解物中のEGFR (Phospho-Tyr1092) のウエスタンプロット分析。



リン酸化EGFR (Tyr1092) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。